

「人生が変わる礼拝」

～狭い門からより頼む人生！！～

ルカ13:22~27 マタ7:13~14

ある人が、オークション会場で本物のナポレオンの12歳時の頭蓋骨だと言われ、1億円で落札しました。会場で多くの人々もそうだと信じてしまいました。しかしナポレオンはもっと生きたので、それは他の12歳の人の頭蓋骨でだまされたと分かりました。みなさんも自分を持たずに、多くの意見のほうを信じてしまうところはないでしょうか。世の中にはたくさん情報があふれ、それがあたかも正しいかのように洗脳されています。今日は12歳で死ぬ状況だった少女の聖書箇所も見ていきましょう。私たちは終わりの時まで与えられた人生をどう生きるかによって最後の姿が変わってきます。ある余命半年のガン患者は、宣告されてからすべてが否定的に見えとも落ち込みました。友だちが連れてきた牧師が「みんな必ず死にます。あなたにはまだ半年あるじゃないですか。すべてが失われたような顔を吐いて大事な家族を傷つけて死んでいくのですか?」と言いました。彼はその日から生き方を変えなければならぬと戦うようになり、多くの余命幾ばくもない人やそうでない人も励まし、死ぬまでの与えられた時をどう生きるかを伝えました。そして将来を生きる会という財団ができました。病気の進行が止まり10年生きました。「彼は苦しみであったことは幸いでした。わたしは神の御義を学びました。」聖書には「どんな境遇にあっても満ち足りる」と書いてあります。キリスト・イエスにあって心が平安に守られるのです。私たちの心が平安でいられるようにと神様が与えてくれたプレゼントは「礼拝」です。聖書に書かれていることは、あなたにとってはすべてが納得いくことでしょうか?あなたが自分の中だけでこうだと思っていることは、あなたの人生を蝕み価値観を固定させてしまいます。そして誰の話も聞けなくなるので、変わらない状況に心が騒ぎ、うまくいかず不安や恐れが生じます。しかし神様の前に出ると、その聖書の納得いかなかったものと自分の答えが違っていることが分かり、「あ、そうか」と思うのです。すると私たちの価値観が壊れます。これが、最大のあなたの人生における平安の入口です。だから聖書では「狭い門から入りなさい」(ルカ13:22~、マタ7:13~14)と語られています。神様は、一般論や常識的価値観で解決しようとはされません。一般論や常識的価値観は時代や国の文化で変わり、正しくない黒人差別や男尊女卑のように、その人の人格を否定してしまうこともあります。聖書は、その人自身を得るよう法律というものを与えました。それが立法です。組織のためのルールは人格を否定しますが、個人のためのルールはその人を生かします。組織のためのルールは何かを守るために何かを排除しますが、個人を守るためのルールを聖書は絶えず伝えようとします。それが「狭い門から入りなさい」ということです。イエスは山上の垂訓での群衆に「努力して狭い門を探しなさい」と言われました。人生の解決を求めてイエスのもとに来た人は少なく、多くの人々は嘲笑ったり見てやろうという気持ちで来たのでした。教会に来る人もこの2パターンに別れます。後者の人は、この世の価値観や常識で判断しようとし、探しているものが違うのでなかなか良いものに出会えません。

「人生が変わる礼拝」 狭い門からより頼む人生！！

神様がなぜ私たちに「礼拝」を与えてくれたのか。それは、狭い門からより頼む人生になるのです。狭い門は、戦いのときに敵の馬が攻めてこれないように小さく作られました。隠されていたのを見つけないのが難しいものでした。イエスは「努力して」狭い門から入りなさいと言われました。日本の茶室を見ると、入口はとても小さいので、ひざまづき頭を垂れて入ります。武士は自分の魂とも言える刀を外し、感情・意思・知識・立場を置いて入る儀式となり、茶室の中では殿も武士も庶民もみな平等です。「感謝しつつ主の門に賛美しつつ主の大殿に入れ」という聖書のことばとよく似ています。「狭い門から入る」を結論づけているストーリーは、マタイ9:16~25、マルコ:5:22~42です。イエスはいつも少数を選びます。マルコ?の福音書は「ひとりの」がテーマです。群衆に話していると、ひとりの会堂管理者が(当時会堂管理者は権限があり偉いのですが)イエスにひれ伏して拝して「イエス様来てください!娘が今死にました。でも御手を置いてくだされば生き返る」と言いにきました。次はひとりの12年間長血を患っている女が、群衆をかき分けてなんとイエスの後ろに来て「着物にさわることでもできれば、きつと治る」と信頼して着物のふさにさわりました。さわるとは「すがりつく」という行為です。女は汚れた者として12年間隔離され医者からひどい目に会わされてきました。イエスは「あなたの信仰があなたを直したのです。」と言われ、女は直りました。会堂管理者の家にイエスは来られて「その子は死んだのではない。眠っているのです。」と言うと、群衆はあざ笑いました。群衆は今しか常識でしか見ていませんでした。あなたは?

「ひれ伏して!!」 狭い門をくぐる

みなさんは、みことばを軽く扱ってませんか?火事るとき、人生で

火事と思えるできごとのとき、みことばを持って出てください。聖書を日曜日だけ開くようなもったいないことをしないでください。この世の成功書はコピーロボットを作る参考書ですが、聖書は「あなたがあなたであるように輝く」ことを教える書なので一番早いです。礼拝はうれしいとき悲しいときどんな状況にあっても、神様の前に出て行くとする姿勢です。それを決断させるのは聖書で、長血を患っている女は這ってでも来たようにそれを行うのが狭い門をくぐるということです。すると、神様の目線で人を見れるようになっていきます。聖書はその人の価値を唱っているようなものです。

「すがりつく!!」 彼に信頼する者

あなたは素晴らしいが少しだけズレている、長血の女が信頼してイエスの元に来てすがりついて直ったようにあなたも元の素晴らしい姿に直ると伝えていきます。関西学院大学ができるには、こんな話がありました。大阪市から布教禁止令が出たとき、宣教師2人は、周りの人が倒れるくらい素晴らしい礼拝をして神様に聴きました。いちばん最初に神様に信頼し祈りました。そして、ペテロたちのことを思い起こし、捕まってもいいから街道で神の教えを解くことを決断し行いました。その場で教えを聞いた中に、禁止令を出した本人の子どろがいて「お父さん、あの教えは本物だよ」と伝えたために禁止令が取り消されました。どんなに不可能な状況でも覆えられ奇跡が起こるのです。そしてミッションスクールの関西学院大学創設という大きな実を結ぶことができたのです。宣教師があきらめていたらどうなっていたでしょうか?あなたは家で礼拝する時間と考える時間はどちらが多いですか?悩む時間はムダです。聖書は「主の教えを喜びとし、昼も夜もその教えを口ずさめ」と、うまくいく単純な方法を教えています。うまく行った人と失敗した人の生き様が書かれている聖書を読んで、あなたはどちらの人の生き方を選ぶでしょうか。口ずさんでみことばを理解し覚えていけば、目の前に何かが起きたときに、神様に頼みやすくなります。また、礼拝は会話です。落ち込んだとき、賛美して神様の声を聴くことです。礼拝を形だけにせず、礼拝の時間を尊んでください。礼拝の時間は、自分の心を置いて、神様の前に出て神様の声を素直に聞いてください。礼拝メッセージを聴く時間は、メッセージと自分が納得する部分があるかとを比べる時間にしないでください。御言葉の種をあなたの中心に蒔かれることを、ただ真っ直ぐに受け取ってください。

「霊が戻る!!復活!!」 自我に死に生き返る!!

イエスは、医学的には死んでいる状態の会堂管理者の娘の手を取り「タリタ、クミ」(少女よ、立ちて歩め)と言われました。長血の女は「あなたの信仰があなたを癒した」と言われました。神様のやり方は、信仰によって癒された彼女の姿を見た周りの人たちに狭い門を提示しつつ、彼女がいちばん辛かった自信を失くしてたことに対して自信を取り戻させたのです。イエスの言葉は、ルールによるものではなく、その人にぴったりの言葉を語られます。牧師が言った言葉はやっぱり完璧にはできないので、聖書で、イエスの御前に出ることによって狭い門を提示しました。礼拝は、神様とあなたとの1対1の時間です。周りの人や牧師のことなどを気にしないでください。神様に心を向けてください。礼拝に備えてイライラせず余裕をもって、良い状態で神様の前に出てきてください。良い状態で礼拝すると心が良くなり、一週間の歩みが今までと断然変わります。今日は洗礼式です。洗礼は、古い自分を水にすべて流して起き上がるときに復活が起こるのです。少女のように「タリタ、クミ」(少女よ、立ちて歩め)と言われるのです。立ちて歩む瞬間に古い自分に死んで神と共に生きるということ、神と人の前に誓約する式です。天国では喜びの宴会が開かれます。周りの人も洗礼者の復活する輝く姿を見て、自分の洗礼をもう一度思い起こし死んでた霊が生き返るのです。礼拝も、自分に死ぬという決意をもって臨んでください。わたしたちの心には少数派、ひとりを恐れる心があります。しかし礼拝はひとりです。神によって素晴らしい造られた私たちに罪が入り不完全になりました。完全であるうとするのをやめたときに罪がズレていきました。しかし、完全なイエスが十字架に架かり完全であるように命懸けで示してくださいました。完全であるとは、自分が愛されていることを知り、隣人も愛されていることを知ることです。神様の愛に包まれ、神のひと言の言葉により生かされていきます。その小さな言葉はパン種のようにからし種からとても大きくなって成長していきます。日曜礼拝日は神様が最初に定めた安息の日です。日曜礼拝も日々の礼拝も尊んでください。あなたの人生が必ず意味のあるものになります。死ぬまでの時間は人それぞれですが、あなたは礼拝を大事にして生きるほうを選びますか。「あなたが信じるなら神の栄光を見ると言ったではないか」

(要約者:高橋 奈津江)

(10月1日)